



【活動目標】支援現場での三障一元化を目指し、障害者の存在それ自体を我が事とする価値観をもって、諸事業に真摯に取り組みます

障サ協  
広報紙

# 山口県障害福祉 サービス協議会通信

発行：山口県障害福祉サービス協議会 広報委員会 〒753-0072 山口市大手町9番6号  
電話：083-924-2799 FAX：083-924-2798 メール：syougai@yg-you-i-net.or.jp



## つくし園

設置法人：社会福祉法人つくし園  
実施事業：入所支援、生活介護、相談支援  
施設長：有吉富男  
〒746-0104 周南市大字米光356番地 TEL 0834-67-2131 FAX 0834-67-2133



## 会員事業所紹介（第13回）

### つくし園

（入所支援、生活介護、相談支援事業）

## 豊かな自然と美味しい食事のある生活

広報委員が会員事業所を訪問し、支援現場の雰囲気に触れながら、職員や利用者との関わり、事業所の特色やアピール点、課題や悩み等についてお聞きする会員事業所紹介です。

今回は、自然豊かな環境で様々な四季を感じながらのびのびと生活をされている、障害者支援施設つくし園をご紹介します。お話をうかがったのは、副施設長の松田浩一さんです。今回も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、リモートでの取材となりました。



休憩所 スギナ



休憩所 サクラ

**1. 開所の経緯と施設概要をお聞かせ下さい。**  
松田：昭和41年に家族の方のお力で開設された「一手をつなぐ親の会作業所つくし園」が始まりで、昭和47年に法人認可され、今年で50年を迎えます。利用者の障害種別は、知的障害が半数以上、身体障害や精神障害の方、重複障害の方も多数おられます。現在の定員は50名。障害支援区分は平均が6となっており、開設当時からおられ、高齢化も進んでいます。

**2. 三障一元化での苦労や工夫をお聞かせ下さい。**  
松田：型（マニュアル）にはめない支援を意識しています。マニユア

**3. 職員の雇用状況は。**  
松田：女性の支援員と調理員が不足しています。特に支援員は夜勤があり、募集してもなかなか難しい現状です。  
**4. 支援で大切にされている事はありますか？**  
松田：型（マニュアル）にはめない支援を意識しています。マニユアルは必要ですが、支援はマニュアル通りにはいきません。マニユアルから外れた部分の支援をどう行うのかを大切にしています。大卒のマニユアルを作成し、マニユアルだけに囚われない動きができるような支援を心掛けています。